



わたしは必死です

ひつ し

伊藤比呂美

いとう ひろみ

わが家の言語は、英語です。娘のトメは九歳、夫は日本語ができません。わたしはいやいや英語を使って暮らしておりますが、トメに日本語を教えておかないと、そのうち親子の会話ができなくなる、日本語が、ひいては自分がなくなると、わたしは必死です。

小さいときから、トメには日本語の絵本を読み聞かせ、歌を歌い、アニメを見せ、かなを教え、漢字を教え、市販のドリルをやらせてきました。日本人学校には通わせていません。カリキュラムも人間関係も、日本文化すぎて、抵抗があります。毎年夏には日本に帰り、保育園や小学校という、子どもの集団に入れて、日本語をきたえます。昔は、どんなにきたえた日本語も、春になるころには消えてなくなっていました(で、英語しかしゃべらなくなる)が、小学生になってからは、日本語が長持ちします。言語能力のピークである、外国語を教えるなら今のうちと思いますが、とてもその余裕はありません。

問題は「読み書き」です。周囲は日本語がないから、自然と覚えることができません。わたしは漢字を必死で教えますが、トメは覚えるそばから忘れます。ザルでお水をくんでるみたいです。小学校二年くらいまでは

ザルでもなんとかかなりましたけど、三年になったら、いきなり漢字が増えました。熟語も書き順もむずかしくなりました。

今、トメに必要なのは、ちまちました(そしてすぐ忘れる)漢字の反復練習より、読む力だ、とわたしは考え直して、必死で、トメに本を読ませています。物語だけでなく、算数の本も理科の本も、教科書もマンガも、読ませたい。でも時間がなかなかありません。

本をさがしています。日本語の不自由なトメでも、すらすら読める本。漢字のない、あるいはルビつきの、文節の区切りがわかる本。絵本じゃなく、字が多く、九歳の自尊心を満足させられる本。おもしろくて、トメががつつきを読まずにいられない本。いろんな語彙に触れられる本。……どこかにあるはずなんです。

人の文化とは、とても複雑(と今さらながら……)、語彙も複雑。日常会話だけできても、日本語がしゃべれることにはならないってことに、気がきました。

世に出回る日本語の数の膨大さにくらべると、トメが触れることのできる日本語はこれっぽっち。教えることのできる日本語もこれっぽっち。言語とは、ある程度たくわえておくと、あとはアタマの中で勝手に増殖していくものだという真理を知らないと、やる気が失せそうになりますが、わたしは必死です。(詩人)

■ 表紙エッセイ わたしは必死です 伊藤比呂美 (詩人)	
■ KC 研修生の Nippon リポート 第 1 回 ……………	3
「大阪の食べ物」と言えば…	
■ JF 日本語関連事業紹介 ……………	4
タイの中等教育用日本語教科書『あきこと友だち』の開発 ブッサバー・バンチョンマニー (カセサート大学)	
■ 授業のヒント ……………	6
談話構成を意識して話そう (1) ～初級編～	
■ 新聞・雑誌から見る現代日本 第19回 ……………	8
韓国ドラマブーム「信じられる存在」求めた	
■ 本ばこ (新刊教材・図書紹介) ……………	11
■ 日本語・日本語教育を研究する 第 25 回 ……………	14
年少者日本語教育とは? ～日本国内外での傾向と取り組み～ 柏崎 雅世 (東京外国語大学留学生日本語教育センター教授)	
■ 文法を楽しく!! 第 1 回 ……………	16
「～である」と「ている」「～ておく」	
■ にほんごハローワーク 第 1 回 ……………	18
日本の伝統食に魅せられて パトリシオ・ガルシア・デ・パレデス さん 自然食料理研究家・マクロビオティック講師 (出身:スペイン) 「にほんごハローワーク」は、概要版を本誌と PDF で、詳細版を HTML で掲載しています。	

On the Web http://www.jpff.go.jp/j/japan_j/publish/tsushin/index.html

以下の記事は JF のウェブサイトのみにてご覧になれます。

- 授業に役立つホームページ 第 10 回
mic-J 日本語教育 AV リソース
- 海外日本語教育レポート 第 8 回
夢のお手伝い ～視覚障害者と健常者が共に学ぶ天津市視覚障害者日本語訓練学校～
北京日本文化センター職員 鈴木慶太

※本誌全体で、ルビが文字の下に付いているのは、紙や物差しなどでルビを隠して、漢字の読みの練習ができるようにするためです。

編集部から

今号から、新しい連載がいくつかスタートしました。1つは、「KC 研修生の Nippon リポート」で、当基金関西国際センターの研修生たちが、自ら調べ体験した等身大の日本の姿を紹介するものです。初級レベルの日本語を用いながら、日本の社会や文化、さらに関西地域独特の文化なども話題にしていく予定です。どうぞご期待ください。2つめは、日本語を使って働く外国人を紹介する「にほんごハローワーク」です。日本国内の日本語学習者は 13 万 5 千人、国外の学習者数は 235 万人 (2003 年、文化庁および当基金調べ) を超え、合計で 250 万人もの人々が、現在日本語を学んでいます。これだけ多くの学習者の中から、日本語を使って様々な分野で活躍する方々も多く輩出されるようになりました。このコーナーでは、日本語上級者に多い通訳・翻訳・語学教師はあえて外し、それ以外の分野で活躍されている方々を紹介することで、日本語を使った仕事の可能性を提示していきます。ちなみに、「ハローワーク」は和製英語で、日本の厚生労働省が国内各地に設置している「公共職業安定所」の通称です。最後は、「文法を楽しく!!」です。日本語文法をわかりやすく解説してきた「文法をやさしく」が、執筆者を一新し、タイトルも変えての再出発です。練習問題を多用しながら、これまでも増して、わかりやすい文法解説を目指します。これら誌面の刷新に加え、ウェブサイトも新しくなりました。バックナンバーの各号の目次を前面に出し、見出しから各記事にリンクをはることで、必要な情報をより早く探せるようにしました。是非ご活用いただければと思います。今号の発行で、読者アンケート実施から丸 2 年かけて行われた『日本語教育通信』のリニューアルが完了します。まだまだ不十分な点も多いと思いますが、今後も読者の皆様のご意見やご要望にできる限りお応えしていくことで、

より良い情報提供をしていきたいと考えております。

さて、最後にお知らせです。国際交流基金 (The Japan Foundation) は、昨秋、日本の各分野の有識者と共同で、「世界における日本語教育の重要性を訴える」提言を総理官邸に提出いたしました。日本語の理解者が増えることは、ひとり日本の利益だけにとどまらず、世界の文化的多様性の維持に必要不可欠です。なぜなら、言葉は、様々な価値観や思想の礎であり、人々の叡智の源泉でもあるからです。日本語が様々な言語話者に学ばれ、双方の言葉が接触することによって、より豊かな価値観や思想に結実することがあるかもしれません。そのような考えの下、上記の提言がまとめられました。紙幅の都合で、全文を掲載することはできませんが、以下に URL を掲載しますので、どうぞ一読ください。(tt)

日本語版：http://www.jpff.go.jp/j/japan_j/news/0412/12-01.html

英語版：http://www.jpff.go.jp/e/japan/news/0412/12_01.html

表紙エッセイプロフィール

伊藤 比呂美 (いとう ひろみ)

詩人、1980 年頃から創作活動を開始し、『伊藤比呂美詩集』『青梅 (あおうめ)』等の詩集を発表。80 年代後半に出版された出産・育児に関するエッセイ集『良いおっぱい悪いおっぱい』等 3 作はいずれもベストセラーに。1999 年『ラニーニャ』で野間文芸新人賞を受賞。「日印作家キャラバン 2003」(国際交流基金助成事業、2003 年 11 月実施) に参加。近刊は小説『日本ノ霊異 (ふしぎ) ナ話』、エッセイ『ラブソング』等。

KC研修生の (関西国際センター) Nipponレポート

第1回
「大阪の食べ物」
と言えば…

このコーナーでは、関西国際センターの日本語研修に参加している
研修生が研修を通して発見した **Nippon** についてレポートします。



「研究者・大学院生日本語研修 (4ヶ月コース)」では、「大阪プロジェクト」と題して、大阪について興味があることを調べました。

レーナさん、チョウさん、レイさん、アイグーリヤさん、オリミさんは、「食い倒れ (to eat oneself bankrupt)」のまち、大阪の有名な食べ物について調べることにしました。

◀大阪のまちで日本人にインタビューしているところ

【大阪のまちで日本人にインタビューしました。】

「大阪の食べ物」と言えば、何ですか？

<お年寄りの答え>

- 1位 寿司
2位 てっちり

<若者の答え>

- 1位 お好み焼き
2位 たこ焼き



寿司店のショーウィンドウ

世代によって答えが違うのはどうしてですか？

お年寄りの意見：

「お好み焼きやたこ焼きは子どもの食べ物！」

若者の意見：

「寿司、てっちは値段が高いので若い人はなかなか行けない」「お好み焼きやたこ焼きのほうがいいで早く食べられるから便利」



お好み焼き



大阪のまちの看板

「てっちり」の店の看板もあります。「てっちり」というのは、ふぐのなべ料理のことです。

たこ焼き屋は小さいです。

たくさんのお客さんが店の前でたこ焼きを食べていました。たこ焼きは6個300円。安い！



左から、レーナ、チョウ、オリミ、レイ、アイグーリヤ

大阪の食べ物と言えば、「たこ焼き」だと思っていました。でも、インタビューをして、お年寄りとお客で答えがちがうので驚きました。大阪の人は、値段や生活のスタイルにあわせて食べ物を選んでるようです。

▽大阪の食べ物についてもっと知りたい人は下のURLを見てください。

- 大阪観光・コンベンションガイド …… <http://www.octb.jp/top.php>
大阪観光案内 …… <http://www.tourism.city.osaka.jp/ja/index.php>
大阪府 …… <http://www.pref.osaka.jp/>

JF日本語関連事業紹介

にほんごかんれんじぎょうしょうかい

タイの中等教育用日本語教科書『あきこと友だち』の開発

ちゅうとうきょういっくよう にほんごきょうかしょ

とも

ブッサバー・バンチョンマニー (カセサート大学)

だいがく

タイでは、1990年代以降、中等教育後期（日本の高校に相当する）で日本語を教科として取り入れる学校が増え、2004年10月現在、その数は255校に達している。この間、1998年に日本語が大学入試の選択科目となり、2001年には基礎教育カリキュラムが大幅改訂されコミュニケーション能力の養成と学習者中心の教授法を重視したものになるなど、タイの中等教育の日本語科目を取り巻く状況は大きく変わった。このような背景の下、教科書についても、従来使われていた一般（成人）向けの教科書や、日本で作成・出版された教科書ではなく、学習者であるタイの高校生の関心や日本語を使う状況などに合った教科書を求める声が高まった。

1. 教科書プロジェクトの概要

2000年2月、タイ教育省と国際交流基金は、中等教育用教科書作成プロジェクトを開始した。制作スケジュールは、1学期毎（前期・後期の2学期制）に1分冊、2003年度前半までで3年間分6分冊（6分冊通して全30課を構成）の試用版セットを作成するというものだった。試用版は2001年から順次、高校で試用され、その結果を反映させて修正が加えられた。市販版は、2004年の各学期の開始に合わせて、3月には1・3・5分冊、10月には2・4・6分冊が刊行された。初版の発行部数は、1分冊5000部、2分冊6000部、3分冊以降は各3000部。



執筆委員はタイ人の高校日本語教員6名と大学日本語教員4名、国際交流基金バンコック日本語センター（当時）専任講師1名、日本人の派遣専門家1名の計12名で構成されていた。このほかに、監修者とアドバイザーとして日本人の専門家3名が関わった。

2. 教科書の構成

教科書は、3年間6学期分（学習時間約500時間）で、本冊、教師用指導書、音声テープが各6分冊、基本的に1学期に1分冊を使う設定で構成されている。この他、ワークブックは1年に1分冊ずつの計3分冊となっている。各課の主な構成は①学習目標、②キーセンテンス（新出文型）、③会話、④練習、⑤文法（タイ語による文法説明）、⑥言葉（新出語彙リスト）、⑦漢字、⑧ミニ情報（タイ語での日本文化紹介）の順になっている（表1参照）。内容的には、教育省の基礎教育カリキュラムや大学入試の出題範囲（日本語能力試験3級程度）が盛り込まれるよう配慮した。



P.79

3. 教科書の特徴

(1) 機能優先の配列

コミュニケーション能力の養成を目指した教科書なので、初級の文法項目に配慮しながらも、各課の学習が終わった後で学習者が日本語でどんなことができるようになるかを「学習目標（機能）」として初めに設定し、作成を進めた（表2参照）。そのため、文型の導入順はそれまで使っていた教科書と異なるところがある。

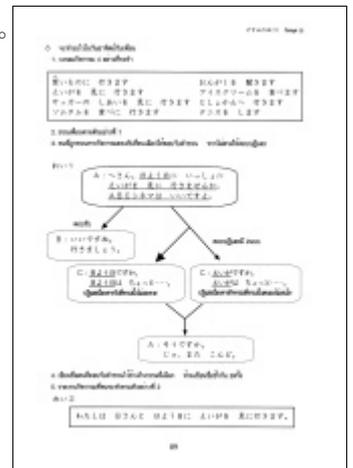
例えば、第3課の学習目標は「（学校などの）場所の案内ができるようになる」ことである。「あります／います」を導入した後に、「（その場所に）だれがいますか／何がありますか」を教える。従来の教科書では、これと同時に「疑問詞」か「だれがいますか／何がありますか」も教えるものが多かった。しかし、タイの高校生が日本人来訪者などに対して校内案内をするという設定では、「だれがいますか」や「何がありますか」はあまり使わない。むしろ、「連休にどこかへ行きませんでしたか」の文例がある第9課（学習目標は「過去に行った活動やその感想を言えるようになる」）で、導入・練習するほうが適当であると考えた。

(2) 自由度の高い練習

練習問題には、語彙や文型が正しく使えるようになることを目指す基本練習と、コミュニケーション能力の養成を目指した応用練習の2種類がある。ミニ会話形式の練習では、単に与えられた言葉を置き換えるのではなく、学習者が自由に内容を考えて発話する練習も多く取り入れた。

(3) ゲーム性のある練習

楽しい授業活動ができるように、ゲーム形式のものをたくさん取り入れた。例えば、語彙や活



P.89

用を覚えさせる練習には、すごろくやビンゴ、カードを使ったゲームなどがある。

(4) 身近な話題・登場人物

学習者に身近な話題を導入できるように、会話は、主人公を日本からタイに留学してきた高校生(あきこ)にし、彼女をとりまく人々とのタイでの日常生活を本文会話のストーリーにした。また、前述の基礎教育カリキュラムでは、外国語の学習内容に地域社会や他教科との関連付けを求めているため、タイの伝統文化や今日の社会問題、新しい電気製品の使い方なども話題として取り上げた。

(5) 練習のフローチャート

教師が各練習問題の関連性を把握できるように、教師用指導書の各課の冒頭にその課の練習のフローチャートを載せて参考にしてもらうようになっている(表1の練習の欄を参照)。

(6) 教師からのフィードバック

試用版を実際に現場で使ってもらい、そこから出てきた教師の意見を多く取り入れてある。

4. 終わりに

この教科書は現在数多くの学校で使用されているが、今後使用状況を調査したり、教え方の勉強会を開いたりして多くの使用者の意見を取り入れて改訂作業を行い、『あきこと友だち』がタイの日本語教育に貢献できる教科書に育っていくことを期待している。また、試用版を使って学んだ学習者が今年初めて大学に入学した。大学入試との関係やその後の学習継続についての調査も今後の課題となるだろう。

表1. 第8課「休みの日(1)」(第2分冊)

1. 学習目標	休みの日の活動に友達を誘うことができる。
2. キーセンテンス	(1) どこかへ旅行に行きませんか。(2) ええ、行きましょう。(3) ホアヒンの海はきれいですよ。
3. 会話	タイでは8月に「母の日」があり、祝日になっている。その年は連休になったので、留学生のあきこは、クラスの友達に誘われて、ホアヒンの海に出かけることになる。
4. 練習	<p><基本練習> 練習は番号順に行う。この図は練習同士の関係を示す。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>れんしゅう1 (日付の言い方) 試験や祝日、誕生日などがいつか言う。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>れんしゅう2 (名詞)は(形容詞) 絵を見ながらそのもの特徴についてたずねたり答えたりする。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>れんしゅう4 (目的)に行く 絵を見て、何をしに行くか言う。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>れんしゅう5 (動詞)ませんか/(動詞)ましょう 絵の活動に誘う。誘いを受けたり断ったりする。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>れんしゅう3 (名詞)は(形容詞) 4つの絵の中からベアの相手を選んだ絵を質問して当てる。</p> </div> </div> <p><応用練習></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>れんしゅう6 与えられた活動の中から好きなものを選んでクラスの友達を誘う。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>読解 様々な活動のポスターを見て、情報を読み取る。また自分で考えた活動のポスターを書く。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>聴解 誘う会話を聞いて、どんな活動に誘ったか、受けたか断ったかを聞き取る。</p> </div> </div>
5. 文法	(1) 年月日の言い方 (2) 形容詞の述語としての用法 (3) (目的)に(移動動詞) (4) (動詞)ませんか (5) (動詞)ましょう (6) (文)よ (7) (疑問詞)か
6. 言葉	おうさま、こうえん、サンドイッチなど、新出語彙85語
7. 漢字	週、大、切、海、買、新、古、安、高、年、広の11字の読みと書き
8. ミニ情報	日本の祝日について

表2: 第6分冊(高校3年後期使用)の「学習目標」と提出文型例

課とタイトル	学習目標	提出文型例
第27課 「大変な一日」	1. 困ったことについて話せる。 2. 自分の失敗を謝ることができる。	①動詞の受身形(1) ②のに ③原因・理由を表す「て形」 ④(動詞)ばよかった
第28課 「祭り」	祭りや習慣、歴史、文化などの情報を伝えることができる。	①動詞の受け身形(2) ②(動詞(辞書形・た形))時 ③(材料)で ④しか+(動詞)の否定形
第29課 「子供の時の思い出」	過去の経験について話せる。	①使役
第30課 「送別会」	1. あらたまった場でスピーチができる。 2. 敬語を使った会話を聞いたり文章を読んだりして理解できる。	①敬語 ②接頭語お/ご ③だろう/でしょう

☆ 授業のヒント

スピーチを行うために重要な「談話構成」をどのように把握させるかのヒントをご紹介します。

テーマ 談話構成を意識して話そう(1) ~初級編~

目的
<ul style="list-style-type: none"> スピーチの談話構成を知る。 談話構成を意識しながら、話を組み立てることができるようになる。 わかりやすく自然なスピーチができる。
学習者のタイプ
<ul style="list-style-type: none"> 初級
クラスの人数
<ul style="list-style-type: none"> 何人でも
準備するもの
<ul style="list-style-type: none"> テープ、テープレコーダー、ビデオカメラ

本文: アウトラインに沿って、各項目を順番に詳しく話す。
 例) まず、~について話します。……
 次に、~について話します。……

結論: テーマについて自分の考えや感想を言う。
 例) ~はとてもいいところです。

終結部: スピーチが終わることを聞き手に知らせる。
 例) これで私のスピーチを終わります。

◆ 談話構成を意識してスピーチを考える

初級レベルの学習者は、使える語彙・表現も文型もまだ限られています。ですから、このレベルでは、身近で具体的な話題について話せるようになることを目標にします。身近な話題であれば、一人で複数の文をつなげてまとまりのある内容を話すことができるようになります。身近な話題の例としては、国の地理や気候、観光地、行事、祭りなどに関することや、自分の学校や仕事に関する内容などが考えられます。

スピーチははじめに何について話すか(テーマの提示)とその話題についてどんなことを話すか(アウトライン)を説明してから具体的なことを話すようにすると、聞いている人にとってわかりやすくなります。

スピーチの全体構成は次のようになります。この全体構成はどのスピーチのテーマにも共通しています。

導入部: スピーチのテーマとアウトラインの紹介
 例) 私は~について話したいと思います。まず、~について、次に~について話します。

スピーチをすることになったら、まずスピーチのテーマを考えます。学習者に考えさせてもいいですし、学習者のレベルや関心、学習した項目に合わせてテーマを教師の側から出してもよいでしょう。

次に、アウトラインを考えます。ここでは、「**① 自国紹介**」をテーマにして考えてみましょう。学習者には、自国に関してどんなことを紹介したいかを考えさせます。具体的な項目を学習者がなかなか思いつかない場合には、教師の方から「あなたの国で有名なものは何ですか」とか「何がおいしいですか」などの質問をして、誘導するとよいでしょう。項目が決まったら、各項目について述べることを詳しく考え、メモします。ここでは**自国の① 地理と気候**、それから**② 食べ物**について紹介することになります。以下はそのメモの例です。

- ① **地理と気候**… 4つの島、周りは海、南北に長い、4つの季節がある。
- ② **食べ物**…… 魚をよく食べる、季節によって食べる魚や野菜や果物が違う。春: いちご、夏: すいか、秋: かきやぶどう、冬: りんごやみかん

このメモをもとにスピーチの原稿を書きます。

これから、私の国、日本について紹介します。はじめに、日本の地理と気候について、次に、食べ物について話したいと思います。

まず、日本の地理と気候について話します。日本は4つの島でできている国で、周りは海です。春、夏、秋、冬の4つの季節があります。南北に長いので、北の方では冬に雪がたくさん降りますが、南の方ではぜんぜん降りません。

次に、食べ物について紹介します。周りが海なので、日本人は魚をよく食べます。さしみやすしなどの日本料理が有名です。魚の天ぷらもよく食べます。季節によって、魚の種類が変わります。野菜や果物も同じです。春には、いちご、夏にはすいか、秋にはぶどうやなしなど色々な果物があります。冬にはみかんやりんごを食べます。

日本にはおいしい食べ物がたくさんあるので、みなさんもぜひ遊びにきてください。

これで、私の国の紹介を終わります。

このスピーチでは①地理と気候、②食べ物の二つの項目について話すので、「まず」「次に」のような話の流れを示す言葉を使うとわかりやすくなります。これらの言葉は、談話の構成を聞き手に知らせる働きをすることから「談話標識 (discourse marker)」と呼ばれています。項目が3つ以上になる場合は、一番目の項目は「まず」あるいは「はじめに」、二番目以降の項目は「次に」「それから」「さらに」などの言葉を使い、最後の項目は「最後に」のような言葉を使うよう指導します。

このような標識の使い方は、まず、モデルを聞かせたり、読ませたりして意識させましょう。標識に注目して意識させる方法としては、標識を①太字にして目立たせたり、② () にして何が必要か考えさせたり、③スピーチを聞かせて () の部分を埋めさせるという活動が考えられます。

◆わかりやすく自然なスピーチをする

原稿を書いて作っておくと学習者は安心してスピーチができます。しかし、原稿を準備するだけでは本当のスピーチの力をつけることにはなりません。原稿を作るとそれを暗記して話す人がいますが、書き言葉のように聞

こえたり、聞き手の存在を無視した不自然なスピーチになりがちです。ですから、原稿を読んだり、暗記するのではなく、項目のメモやアウトラインを見て話す練習をしましょう。

また、スピーチの練習を録音して自分の話し方を振り返るのもいいでしょう。速さや声の大きさ、わかりやすさはもちろんのこと、自然な話し言葉に聞こえるにはどうすればよいかを考えてみるといいと思います。

では、自然な話し言葉とはどんなものか考えてみましょう。まず、スピーチの場合、作文と違って目の前には聞き手がいます。そのことを上手に利用して、聞き手を巻き込みましょう。その一つの例としては、スピーチに聞き手に問いかける要素を入れることが挙げられます。左のスピーチ例でいうと、「さしみやすしなどの日本料理が有名です。」の前に「みなさんは、さしみやすしを知っていますか/食べたことがありますか。」と問いかけてみたり、実際の食べ物の写真を見せて「これは何でしょう」とクイズを出してもいいでしょう。

次に、みなさんが母国語でスピーチするときのことを思い出してください。実際のスピーチでは、言いよんだり、言うことを忘れてしまうことがありませんか。そのような時によく使われる表現もこういう機会に練習しましょう。その例としては、「ええと」や「あのう」などがあります。このような表現は、言葉がすぐに見つからないときや忘れてしまったときに話がまだ続いていることを示し、思い出すための時間を作ることもできるので、便利です。また、「ええと」「あのう」は、話し始めるときに聞き手の注意を集める役割もします。これらも談話標識の一つであり、初級から身に付けさせたいものです。モデルのスピーチを聞かせるときにこれらの標識も入っているとよりいいですね。

談話標識を意識して使うことで、スピーチは、ぐっとわかりやすく、

話し言葉らしい自然なスピーチになります。ぜひ試してみてください。

参考文献

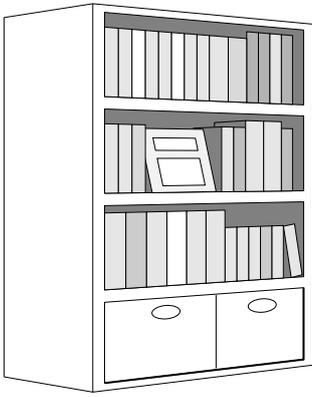
国際交流基金関西国際センター『初級からの日本語スピーチ』

凡人社



小玉安恵、阿部洋子 (日本語国際センター専任講師)

読者の皆さんからのアイディア、成功例、失敗談などぜひお寄せください。



本ばこ

—新刊教材・図書紹介—

「日本語の教材や図書に関する新しい情報がほしい」という海外の先生方の声をよく聞きます。このコーナーでは、最近出版された日本語教材や参考書を中心に紹介していきます。誌面の制約上、一回に多くの本を紹介できませんが、「海外の先生にとって使いやすい教材」「授業や研究の役に立つ本」、また、「知っていると便利な図書・資料」などを取り上げます。

※データ凡例 1 著者 2 出版社 3 刊行年月 4 ISBN 5 判型・ページ数 6 定価 7 その他

「おしゃべり」を通して日本語の世界を広げる

『にほんご宝船 いっしょに作る活動集』

『にほんご宝船 教える人のための知恵袋』



データ

1 春原憲一郎、中村律子、谷啓子、與那覇麻礼
 2 アスク語学事業部 (〒162-8558 東京都新宿区下宮比町2-6 TEL.03-3267-6866 FAX: 03-3267-6868 URL: http://www.ask-digital.co.jp/)
 3 2004年5月19日 4 知恵袋: 4-87217-554-9 活動集: 4-87217-553-0 5 知恵袋: B5判120ページ 活動集: B5判 112ページ 6 知恵袋: 2,100円 活動集: 1,050円

になっています。

この二冊は、日本の地域社会だけでなく、様々な日本語教育の中でも、広く交流を前提として話す活動をするために利用できると思われます。また、日本語教育のあり方を見直してみるための材料として使うこともできるでしょう。

▽双方向の交流をめざして

この教材の中では、50の活動が紹介されています。それぞれの活動は、ことばの意味の確認からはじまって、それぞれが話題について持っている情報や経験を話したり、活動集に書き込んで共有するものです。さらに発展活動のアイデアも示されています。

これらの活動は、どこからはじめても、どの

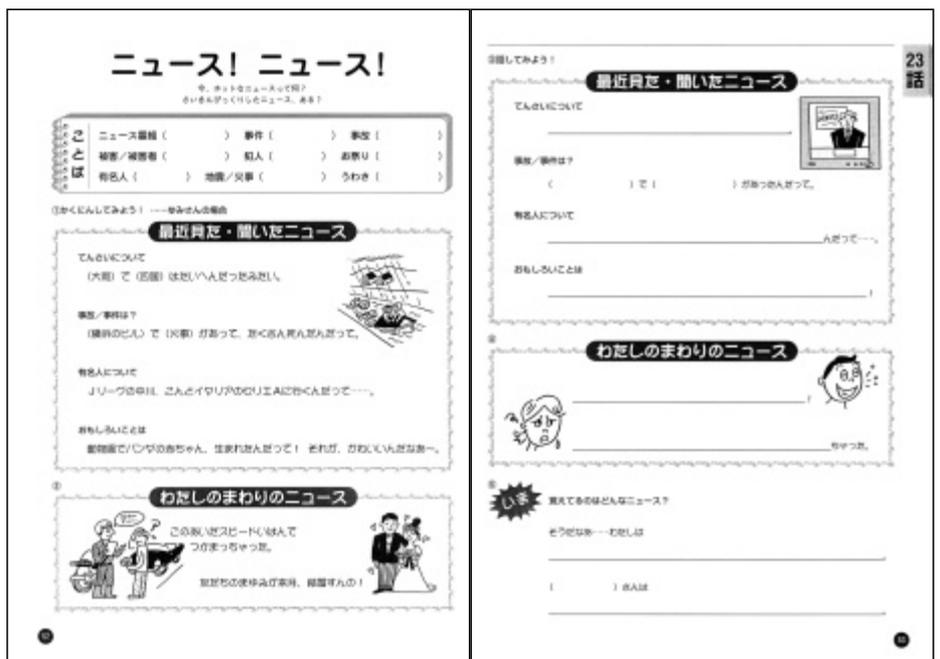
順番で行ってもよく、周囲の人たちと交わりながら、共同で完成していくことを前提としています。それぞれの活動では、身近な生活、社会的な問題、お互いへの興味・関心、そして日本語そのものなど、幅広くみんなが話したくなるような話題を取り上げています。

また、インターネット上この本のサイトが用意されていて、本の利用者が新しいアイデアを送り、みんなで共有していくことも目指しています。

▽くゆるやかな隣人関係を 作っていくために

この二冊は、日本の地域社会に住む外国人が日本人との交流を通して日本語を学んでいくための活動を紹介しています。『知恵袋』となっている青い本が、「教える」立場の人への解説用に、『活動集』となっている赤い本が活動で実際に使う教材として作られています。

この本の作者は、「ことばを学習するときに、何が大切で何を優先させるかということについて、教科書や先生や日本人が一方向的にきめるのはやめようと思いました」と語っています。つまり、そこに集まった日本語を学ぶ人と日本語を話す人が同等の立場で「おしゃべり」することが目指されています。「おしゃべり」というのは、よく「勉強の邪魔だ」と思われがちです。でも、この本ではくゆるやかな隣人関係を作っていくためには、かかせない大切な営みだとしています。そして、活動の中に、お互いを知り合い、交流していくための「おしゃべり」の機会をたくさん盛り込んでいます。また、その「おしゃべり」をするために必要な文法項目、文字なども、整理したり確認したりできるよう



『活動集』 P. 52

『活動集』 P. 53

適切な表現で文章を書く技術を身につける

『日本語を書く楽しみ』

データ

1 神田靖子、山根智恵 編著、入江さやか、佐尾ちとせ、米澤昌子 執筆、川村千絵 執筆協力
2 発行：西日本法規出版（〒700-0035 岡山県岡山市高柳西町1-23 TEL.086-255-2181 FAX.086-255-6324 URL <http://www.nishinihonhouki.co.jp/> 発売：星雲社（〒112-0012 東京都文京区大塚3-21-10 TEL.03-3947-1021 FAX.03-3947-1617 3 2004年3月30日 4 4-434-04407-9 5 B5判200ページ 6 2,310円

日本語で文章を書けても、書いた文章の構成や表現に自信がなく、悩む人は少なくないと思います。この教材は日常でよく使われる様々な文章の構成や表現形式（文章の種類による言葉の使い分け、言い換え、感情表現、省略など）が詳しく書いてあります。

本教材は全部で10課あり、取り上げている文章は「説明文、感想文、会話文、意見文、要約文、広告文、エッセイ、レジュメ、インタビュー記事、手紙・メール」の十種類です。第1課の「説明文」を例に課の構成を紹介します。課

の表紙：説明文の文章例と、その課の学習要点が書いてあります。1. 振り返り：書く前に、問題形式で、説明文についての知識や経験について振り返ってみます。2. 基礎知識：説明文でよく使われる表現などについて、どれくらい知っているかを確認します。3. 説明文とは：説明文の特徴について説明します。4. 説明文を書くために：説明文の構成、表現形式、具体的にどのような言葉や表現を使えばよいかを示しています。5. 練習問題：説明文の構成、言葉、表現に関する練習問題です。6. 書いてみました：日本語学習者が書いた説明文の実際例を挙げ、分析し、構成上のポイントや間違いやすい表現などについて説明します。7. 書いてみましょう：実際に学習したことを使って書くための問題が載っています。

本教材は中・上級レベル向けのもので、「日本語能力試験」2級以上の漢字や語彙にはルビが付けてあります。ほかに、この教材のWeb版もあるので、「発展課題」に取り組みたい人や作文の添削してもらいたい人は、インターネットを利用するといでしょう。



P. 25



P. 26

意見や考えを文章を書く練習をしたい人に

『日本語留学試験 実戦問題集』

データ

1 佐々木瑞枝監修、EJU日本語研究会著 2 ジャパンタイムズ（〒108-0023 東京都港区芝浦4-5-4 TEL.03-3453-2013 FAX.03-3453-8023 <http://bookclub.japantimes.co.jp/> 3 2004年6月1日 4 4-7890-1167-4 5 B5判 138ページ 6 1,680円

この教材は以下の特色があります。①日本語留学試験の記述問題の形式に沿った練習をする。

②肯定、否定どちらかの立場に立って意見を述べる練習をする。③フローチャートで文章の構成を学ぶ。

この教材は、日本語留学試験への準備として利用する以外に、自分の考えや意見を記述する練習としても役に立つでしょう。

以下、問題4「喫煙問題」を例にとって各問題の構成を説明します。最初に、〈A〉「たばこは健康に悪いから吸うべきではない。」〈B〉「たばこは個人個人の嗜好の問題だから、吸うのは自由だ」という二つの意見が提示され、〈A〉か〈B〉どちらかの立場に立って、その理由を400

字で書くようにとの設問があります。次に、「資料」として、①「たばこが体に与える影響」に関する情報②「たばこと税金との関係」に関するデータが示されます。そのあとに、〈A〉〈B〉それぞれの「解答例」が示され、続く「フローチャート」では、①立場の表明②理由1③理由2④具体例⑤結論という文章の流れが、〈A〉〈B〉の両方について示され、最後に、「解答例」で使われる語句の英訳と表現の解説があります。幅広い話題に関する問題が全部で30題あり、3段階のレベルに分かれているので、自分のレベルや興味に合わせて問題を選べます。問題の多くは普遍性のある話題ですが、「首都を東京から移すべきか」のように日本独特の話題もあります。国の事情に合わせて変える工夫をするのもいい

でしょう。また、慣れないうちは「フローチャート」に沿って文章を書いてみるといいでしょう。

「解答例」を読解として利用したり、「解答例」や「資料」を日本事情の勉強に利用することも可能でしょう。



P. 16



P. 17



手軽に「読み」から引ける

『大きな活字の三省堂五十音引き漢和辞典』

おお かつ じ さん せい どう ご じゅう おん び かん わ じてん

データ

- 1 沖森卓也・三省堂編修所編
- 2 三省堂 (〒おもしろくや さんせいどうへんしゅうじょへん 101-8371 東京都千代田区三崎町2-22-14 とうきょうとちよだくみさきまち)
- TEL.03-3230-9412 FAX. 03-3230-9569 URL http://www.sanseido.co.jp/
- 3 2004年6月10日
- 4 4-385-15951-3
- 5 B5判 1,440ページ 漢字数約6,300字 異体字約1,600字
- 6 5,250円
- 7 付録付き

B5版で厚さ約5センチ、重さ2キロ。持ち運びに便利とはいえません。でも、この辞書を手に取った人は、いつのまにか黙って読みふけてしまいます。その理由は、この辞書が次のような特徴を持っているからでしょう。

まず見やすい。見出しの漢字は一センチ四方の大きさです。画数の多い漢字ははっきり見えます。ちなみに三省堂からは『大きな活字の〜』という辞書が他にも多数でています。赤、灰色で色分けされているため読みやすいのも特徴です。

そして五十音順で探せる。親字（見出しの漢字）は五十音順に並んでいます。例えば「赤」

は「セキ」という音読みで探します。音読みが無い漢字は、訓読みで探します。「峠」は「とうげ」という訓読みしかありませんから「と」の列を探すことになります。読み方が分からない場合は、普通の漢和辞典と同じように「音訓索引」「総画索引」から探すこともできます。つまり色々な探し方ができるのです。

さらに日本・韓国・中国の漢字使用の違いの説明がある。同じ漢字表記でも意味に違いがあるものはコラムで説明しています。漢字圏の学習者には大いに参考になりますし、読み物としてもおもしろいです。見出しには拼音やハンゲルも併記されています。

意味の説明は、現代日本での使われ方が中心です。親字の数は6300字で、漢和辞典としては多いとはいえませんが、一般的に用いられる漢字の数としては充分だといえるでしょう。

「ピアノ=洋琴」といった外来語の漢字表記のための『宛字外来語』や『部首名一覧』なども、漢字好きの学習者や日本語教師の助けになるでしょう。



P.1041

語と語のつながりが分かる

『日本語表現活用辞典』

に ほん ご ひょうげん かつ よう じてん

データ

- 1 姫野昌子監修・執筆、柏崎雅世、藤村知子、鈴木智美、花菫 悟、横井雅子、種田美由紀執筆、佐々木礼子、ニョー・ゲイ・フォン 執筆協力
- 2 研究社 (〒102-8152 東京都千代田区富士見 2-11-3 TEL.03-3288-7777 FAX.03-3288-7799 URL http://www.kenkyusha.co.jp
- 3 2004年6月1日
- 4 4-7674-9051-0
- 5 四六判 730ページ
- 6 4,935円

従来の国語辞典は、「語の意味」を記述することを中心としてきました。しかし、この辞典は、日本語を外国語として学ぶ人々のために作られたもので、表現に役立つような、語と語のつながりに着目して作られています。

見出し語は、動詞1,180語、形容動詞類364語、あわせて1,544語を中心にしています。『日本語能力試験出題基準【改訂版】』の「1級語彙表の10,000語」の中から選択され、さらに補充されたものです。25,000を越える例文は、文芸作品、新聞などから採取したものを参考に作例されていて、文章作成の上で参考にする事ができます。

す。また、慣用句、複合語も豊富なのが特徴です。見出し語はひらがなで示されていて、常用漢字以外の漢字には振りがなが付いています。

例えば「乱れる」という動詞の場合、どのような名詞を主語にもってくる事ができるでしょうか。「列、秩序、規律、周期、足並み、順番、命令系統、国、世の中、生活、風紀、心、集中力…」など、様々な語が可能になります。この辞書では、見出し語の動詞と組み合わせる事が可能な名詞が意味別に分類されて載っています。さらに文の中で

の使われ方を示すため、「歩いてるうちに列が乱れてきた。…失恋してから生活が乱れてきた。…」など、様々な例文を載せています。この他、項目によっては、副詞など、その動詞を修飾する語句や慣用句、複合語などが載

っています。形容動詞類が見出し語の場合も、組み合わせる事が可能な語が様々な用例とともに載っています。文を作るとき、参考にすることができます。



P. 620

P. 621

P.11 ~ 13 は国際交流基金の以下の日本語専任講師が図書を選び、分担して紹介文を執筆しました。

- 古川嘉子、王 崇梁、向井園子、長坂水晶、久保田美子 (執筆順)

日本語・日本語 教育を研究する

第25回

このコーナーでは、これから研究を目指す海外の日本語の先生方のために、日本語学・日本語教育の研究について情報をおとどけしています。今回のテーマは〔年少者に対する日本語教育〕です。

年少者日本語教育とは？～日本国内外での傾向と取り組み～



東京外国語大学留学生日本語教育センター教授 柏崎 雅世

1. はじめに

国際交流基金の『2003年海外日本語教育機関調査』によると、海外の日本語学習者数は2,356,745人（1998年調査の12%増）で、そのうち64.8%が初等・中等教育機関の学習者であり、前回調査（1998年）と比べて10.6%増加しています。このように年々増加している年少者に対する日本語教育ですが、成人と年少者では、学習動機、学習者の成長過程における言語の認知能力、習得のプロセスが異なるため、教授法、クラス運営、評価などすべてにわたって、成人学習者を対象とした日本語教育とは異なるアプローチが求められます。

2. 年少者とは

「年少者に対する日本語教育」とはどのような対象をさしているかをまず明確にしておきましょう。

① 世界の年少者に対する日本語教育

1) 外国語教育(JFL:Japanese as a Foreign Language):

学習者の母語は日本語ではなく、広くは幼児、小学校・中学校・高校（初等・中等教育機関）までの生徒を対象としています。学習者は、社会・家庭・学習で用いられる言語が母語と一致する環境にいます。

2) 継承日本語教育(JHL:Japanese as a Heritage Language):

海外在住の日系人子弟で母語はすでに日本語ではない児童生徒を対象として、両親や祖父母の母語（日本語）を継承するための教育です。子どもが社会や学習で用いる言語は母語ですが、少し家庭や地域で学習言語（日本語）に触れる環境があります。

② 日本滞在の外国人児童生徒の日本語指導

第二言語教育(JSL:Japanese as a Second Language):

日本滞在の母語が日本語ではない児童生徒で、社会・学校は日本語の環境です。家庭では母語を使用します。

最近では日本で「年少者の日本語教育」と言えば②を指し、活発な研究や実践報告が多くなりました。しかし、上に見たように、様々な年少者に対する日本語教育があ

ります。そこで、年少者について論じる時には、対象を明確にする必要があります。

3. 世界の年少者に対する日本語教育

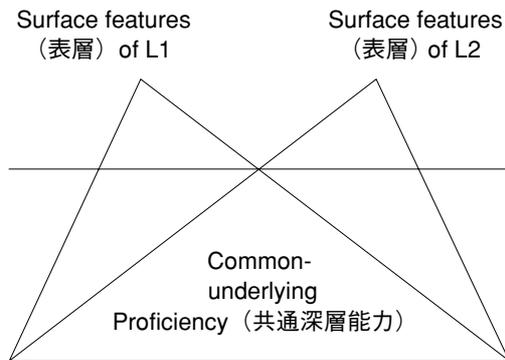
日本語学習者が増加してきた背景としては、個人レベルでは最近のアニメーション・マンガ・ポップカルチャーの人気とその背景として考えられますが、一方、アメリカやオーストラリアに代表される各国の言語教育政策の中に日本語も取り上げられていることが大きいと言えます。

アメリカ合衆国では1999年“Standards for Foreign Language Learning in the 21st Century”が発表され、外国語学習の指針が示されました^(注)。その外国語の一つに日本語も含まれています。その中で外国語を学ぶ利点は「①母語・言語一般に対する理解が深まる、②母国と他の言語・文化への感受性が豊かになる、③他文化の知識・情報が得られる、④自己の言語・文化とのギャップから文化の独自性に気づく」であるとしています。すなわち外国語学習は、言語を始めとする社会・文化の多様性への気づきとともに自己の言語・文化・社会への理解につながるものであると考えていることが分かります。これはオーストラリアのLOTE (Language Other Than English) 政策に基づいて出されたAustralian Language Level (ALL) Guidelinesでも見て取れます。初等・中等教育の言語学習の目標はコミュニケーションを中心に、他文化を理解するとともに自文化への洞察も深めることだと考えられています。これは、米・豪だけでなく、世界各国の日本語教育ガイドライン(国際交流基金2004『世界の日本語教育〈日本語教育事情報告編〉』第7号)にも共通したものが見出されます。

一方、オーストラリアのNSW州を中心に、成長過程にある学習者の認知力やコミュニケーション能力を高める外国語教育を進めることは同時に、自言語におけるリテラシースキルを伸ばすことにもなるという捉え方をしているところもあります(2004年日本語教育国際研究大会

矢崎満夫氏報告)。この考えはCummins, J and M.Swain (1986) の共通深層能力 (Common-underlying Proficiency) の考え方に基づいています。この考え方は言語教育の中でも、大きな成果を挙げていると言われるイマージョンプログラム (Immersion Program) や日本滞在外国人児童生徒の日本語指導でも重要なキーワードになりますので、次にこの考えを見てみましょう。

4. 共通深層能力とイマージョンプログラム



The "dual-iceberg" representation of bilingual proficiency
From Cummins, J. and Swain, M. (1986) *Bilingualism in Education*.

いわゆる二重氷山説とも言われるもので、表層ではその形、音声、文法などまったく異なって表れる母語 (L1) と学習言語 (L2) ですが、表層に表れない深層においては、その概念や認知、言語使用の理解などが共通しているという考え方です。二言語相互依存説の根拠になっています。L1で、ある概念の認識ができていて、それを共通の深層能力として、L2の学習を支えることができるということになります。この理論に基づいて、アメリカ・オーストラリアなどでは学校教育の一形態として日本語イマージョンプログラム (Immersion Program) を実施しているところがあります。イマージョンプログラムとは、母語ではない学習言語 (日本語) を使用して教科指導を行います。学習言語の環境に漬かる (immerse) ことによって、高度な認知能力や学力を身につけるとともに外国語 (第2言語) を習得するプログラム (Cummins and Swain 1986, Cummins 2000) で、バイリンガル教育の観点からの研究 (中島1998) も進んでいます。

このプログラムが成功するためには、周囲の条件が整っていることも大切で、これからも研究が進められる必要があります。

5. 日本滞在外国人児童生徒の日本語指導

1990年代以降、日本における外国人居住者の増加に伴い、日本の学校教育において日本語指導の必要な外国人児童が増えてきました。この研究や実践報告としては、大きく分けると、1) 地域を含めた学習・生活支援、2) 学

校・教室現場における日本語指導 (教授法・カリキュラム・教材) などがあります。この分野では、来日後の生活日本語を中心とする初期指導 (1~2年) の問題、そしてその後の高度な認知力を必要とし、文脈的サポートが少なくなる教科学習のための言語 (習得に5~7年かかるといわれる) を、どのように支援していくかという問題とがあります。文部科学省からはJSLカリキュラムの報告書 (2003) が出ましたから、今後はその実践報告に期待したいところです。一方、原学級 (日本人児童と一緒にのクラス) における教育支援カリキュラムの作成も進んでいます。さらに学校外の地域で、ボランティアによる日本語指導や外国人児童の母語を話す母語保持支援などの取り組みも少しずつ進んできました。この学習支援としては二言語相互依存説による「教科・母語・日本語相互育成学習」モデルに基づいた支援実践報告などいろいろ出ています。

6. おわりに

年少者に対する日本語教育は、世界と日本国内という違いはあっても、共通していることは「多文化理解と共生」および「社会文化を含めた言語リテラシー教育」にあると言えるのではないのでしょうか。世界各地で漢字や語彙の指導、教師のピリーフの問題等、様々な視点からの研究・実践報告もすでに出ています (国際研究大会2004)。今後、さらに多くの研究・実践報告を積み上げていく中で、年少者に対する日本語教育学の構築が可能になっていくと思います。

注

日本語部分はハワイ大学聖田京子教授が翻訳し基金 HP に公開
http://www.jppe.go.jp/j/urawa/world/kunibetsu/syllabus/pdf/sy_honyaku_9-2USA.pdf

基本的な参考文献

- 国際研究大会ワークショップ資料 (2004)
<http://wwwsoc.nii.ac.jp/nkg/kokusai/2004/workshop.htm>
- 中島和子 (1998) 『バイリンガル教育の方法 - 12歳までに親と教師ができること -』アルク
- 文部科学省 (2003) 『学校教育における JSL カリキュラムの開発について (最終報告)』
- Cummins, J. and Swain, M. (1986) *Bilingualism in Education*. Cambridge University Press
- Cummins, J. (2000) "Immersion Education for the Millennium: What We Have Learned from 30 Years of Research on Second Language Immersion."
<http://www.iteachlearn.com/cummins/immersion2000.html>

文法を楽しく!!

「～である」と「ている」「～しておく」

通信で習った項目：受身、やりもらい、～てきた、～ていく、～てくる、～ている、**～である**、～ために、～ように、～たら、～と

前回までの「文法をやさしく」に続いて、今回から「文法を楽しく!!」が始まります。

担当するのは、私、市川保子です。浦和の日本語国際センターで文法の授業を担当しています。どうぞよろしくお願ひします。

「文法を楽しく!!」では、次の点に力を入れて進めていきたいと思います。

- 1) 実際の会話例や文例で状況や文脈を考えながら、文法項目をとらえていく。
- 2) 文法項目の使い方がわかるかどうかの練習問題を多くする。

取り上げる項目は、「文法をやさしく」と同じく、研修生の皆さんが間違えやすいものを選んでいく予定です。楽しんで文法を学んでいってください。

タイトルの帯の中は今まで「文法をやさしく」で勉強した項目に、今回勉強する項目「～である」を加えたものです。この通信で、今までに何を勉強したかを思い出す参考にしてください。

今回は「～である」について、「～ている」や「～しておく」と比較しながら学習しましょう。まず、次の問題をやってみてください。

問題 1：下の〈 〉の中のことばを使って文を完成しなさい。

A：さあ、出かけよう。窓は(①)あるし、電気も(②)ある。

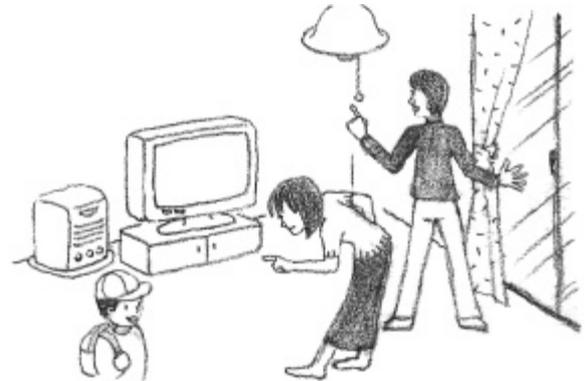
B：ストーブも(③)いるし、テレビも(④)いるわ。

A：窓の鍵も(⑤)いる。みんな大丈夫だ。

〈閉める／閉まる、消す／消える、かける／かかる〉

これはどんな状況の会話で、だれとだれが話しているかわかりますか。答を書いてください。

状況：()
話している人：()と()



そうですね。たぶん家族がこれから出かけようとしているところですね。話している人はAはお父さん、Bはお母さんでしょうか。Aは「みんな大丈夫だ」と男ことばを使っているので男性、Bは「(～ている)わ」を使っているので女性ですね。

()の答は、「①閉めて、②消して、③消えて、④消えて、⑤かかって」です。

では、次に、「～である」のポイントを整理しましょう。

意味 1：「～である」は、人が何かをした結果に生じた状態を表す。

(状態を表す「～ている」とよく似ている。)

形：「～が+他動詞+である」「～が+自動詞+ている」
「～である」「～ている」の違い：

「～である」は動作をした人の意図 (intention) に焦点が当たる。

「～ている」は、今の状態 (state) だけに焦点が当たる。

助詞には「が」が使われますが、「が」の前の事柄が、話し手・聞き手にとって共通の話題であるときは、「は」や「も」で表されやすくなります。

次の会話の中の「他動詞+である」と「自動詞+ている」の使い方の違いがわかりますか。

【会話1】 A：ああ、寒い。あつ、窓が開いていますね。

B：寒いですか。

タバコくさかったので、開けてあるんですよ。

すぐ閉めますから、ちょっとがまんしてくださいね。



Aは窓の状態を見て「開いている」と言いました。それに対してBは、これはわざわざタバコのおいを消すために開けたのだと説明しています。Bの意図が入っています。それで、Bは「開けてある」を使ったのです。

「～である」は結果の状態とともに、次のような意味を表すことがあります。

意味2：「～である」は、何かの目的のためにしてあることを表す。（「～ている」にはこの用法はありません。）

形：「～が／を＋他動詞＋である」

【会話2】 A：何時の新幹線に乗るんですか。

B：9時です。もう切符を(が)買ってあるので、ぎりぎりに行っても大丈夫です。

ぎりぎり (just in time)

会話2のBは「切符を買ってある」「切符が買ってある」の両方使えます。「切符を買ってある」と「を」を使うときには、話し手の「買った」という行為を、また、「切符が買ってある」と「が」を使うときには、「もう買ってある」という結果の状態を表していると考えられます。

「が」「を」は次の会話のAのように「は」や「も」で表されることがあります。これは「が」「を」の前に来る事柄が、話し手・聞き手にとって共通の話題であるからです。

【会話3】 A：何時の新幹線に乗るんですか。

B：9時です。

A：切符はもう買ってあるんですか。

B：ええ、買ってあります。

A：ホテルの予約は。

B：ええ、ホテルの予約もとってあります。

意味2の「～である」(何かの目的のためにしてある)は「～しておく」(何かの目的のために前もってしておく)に近づいていきます。

【会話4】 A：9時の新幹線の切符はどうになりましたか。

B：もう買っておきました。

A：ああ、そうですか。ありがとうございます。で、ホテルの予約は。

B：ええ、ホテルの予約もとっておきました。

会話3の「買ってあります」は「(ある目的でそうして)その結果そうしてある」を表しますが、会話4の「買ってあります」「とっておきます」は、それぞれ、話し手が、「ある目的でそうする」ということを表しています。両方とも何かの目的で「する」「してある」の意味を表しますが、「～しておく」のほうが動作・行為に焦点が当たっています。

「～ている」「～である」「～しておく」の意味用法を図にすると次のようになります。

結果の状態 ⇐ ⇨ 意図、何かの目的のために
～が～ている ～が～である ～を～である ～を～しておく

では、最後に今までのことがわかったかどうか、もう一度問題に挑戦してください。答はこのページのどこかにあります。

問題2：下の< >の中のことばを使って文を完成しなさい。

A：さあ、出かけよう。電気も消して(①)し、ストーブも消して(②)。

B：テレビも消えて(③)し…。

あ、窓が開いて(④)。

お父さん、窓を閉めて、鍵をかけて(⑤)。

ください。

< いる / ある / おく >

参考文献

松岡弘監修(2000)『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク

グループ・ジャマシー編著(1998)『日本語文型辞典』くろしお出版

(2)19⑤ 21⑦ 21⑥ 22② 22① 最の2語目

このコーナーの担当者：市川保子（日本語国際センター客員講師）

このコーナーについてご感想やご質問があれば送ってください。

「ヤスコの日本語ハウス」という個人のホームページを開いています。英語の翻訳も付いていますので、ぜひ活用してください。

ホームページのアドレスは、<http://homepage3.nifty.com/i-yasu/index.htm> です。

語学以外の専門分野で日本語を使って
仕事をしている外国人を紹介する

にほんご ハローワーク

Q1: なぜ日本に関わるようになったのですか?

私が子どものころ、母が重い病気にかかったのですが、玄米や味噌など日本の伝統的な食事を使った療法(マクロビオティック/MacrobioticsあるいはMacrobiotique)によって、病気を治すことができました。それ以来、私の家では、玄米と野菜を中心とした食事をするようになり、私も小さい時から豆腐やしょう油など日本の食材に親しむようになりました。その後マクロビオティックをもっと勉強したい母が、ボストンにあるマクロビオティックの学校に入ることになり、家族で米国に移住しました。私は、米国の高校を卒業した後、2年間、中南米や欧州などを旅行しながら、将来どのような仕事をするか考えました。さまざまな体験をする中で、「食」が人々の健康だけでなく、環境問題などいろいろな問題につながっていると思うようになり、私も、母が通った同じ学校に入り、マクロビオティックの料理や理論を学びました。そして、日本で料理を教える機会があり、来日しました。

Q2: 具体的に、日本でどのような仕事をしているか紹介してください。

新しいレシピを考えたり、マクロ

ビオティックのレストランで働く日本人シェフ達の指導をしたり、家庭向けの料理教室で教えたりしています。また、白砂糖や卵、乳製品を使わないデザート料理の本など、本の出版にも関わりました。

Q3: 日本語をどのように習得しましたか? パトリシオさんにとって、日本語はどのような点が簡単で、どのような点が難しいですか?

来日前に日本語を勉強していませんでしたので、仕事をしながら、日本人とのコミュニケーションの中で日本語を覚えました。最初は、たいへんでしたが、食材や料理法についての日本語は知っていたので、少しは役に立ちました。日本語は、母音がスペイン語と同じなので、聞き取りは楽でした。でも、読み書きは、まだまだ不自由しています。仕事が忙しく、机に座って勉強する時間なかなか取れないので、やはり日本へ来る前に、基本的な日本語を学んでおけば良かったと思います。

Q4: 来日する前と後では日本のイメージは変わりましたか?

小さい時から、日本の伝統的な文化はすばらしいと教えられてきたので、日本に来て見て、今の日本人がそうした伝統文化を捨ててしまっ

第1回 日本の伝統食に魅せられて

パトリシオ・ガルシア・デ・パレデスさん

自然食料理研究家・マクロビオティック講師。日本各地で、マクロビオティックの講義や講演、料理教室、シェフのトレーニングなどを行っている。スペイン生まれ。1995年に初来日、1998年から日本在住。



いるように見えることにショックを受けました。でも、考えてみれば、私もスペインの古い文化のことを知らず、スペイン文化が好き日本人からいろいろと教えてもらったこともあります。どこの国の人も、自分の文化にはない他の文化に魅力を感じるというのは、おもしろいですね。

Q5: 将来の夢(計画)について、教えてください。

やはり日本の伝統的な食生活のすばらしさを、日本人や世界の人々に伝えていながら、環境問題や南北問題、平和の問題を解決する方法も考えていきたいと思っています。

(パトリシオさんについて、より詳しく知りたい方は、ウェブサイト http://www.jpff.go.jp/j/japan_j/publish/tsushin/index.html を見てください)

『日本語教育通信』 第51号

2005年1月発行

編集・発行 独立行政法人 国際交流基金
日本語事業部企画調整課
〒107-6021 東京都港区赤坂1-12-32
アーク森ビル21F

The Japan Foundation
Planning and Coordination Div.,
Japanese - Language Dept.
(Ark Mori Bldg. 21F, 1-12-32 Akasaka
Minato-ku, Tokyo 107-6021, Japan)
TEL. 03-5562-3525 FAX. 03-5562-3498
E-Mail fnjckt@jpf.go.jp
編集協力
財団法人 国際文化交流推進協会
Japan Association for Cultural Exchange
(ACE Japan)

(表紙イラスト: jane-tonntu) 古紙100%再生紙使用